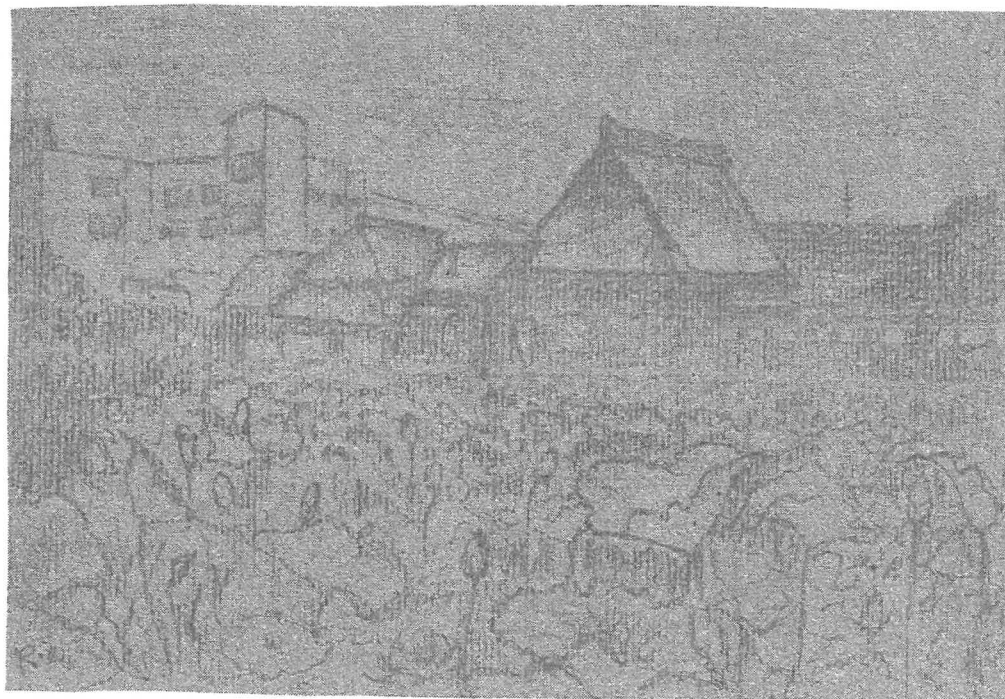


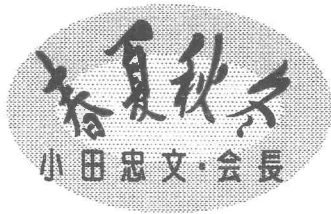
吹田の郷

発行/NPO法人すいた市民環境会議 事務局/〒564-0062大阪府吹田市垂水町3丁目8-28.106 TEL/090-8375-0647 FAX/06-6386-9491 中村小夜子
会長/小田忠文 ホームページ <http://www3.big.or.jp/%7E5s5k/s5k.htm> 設立/1997年3月15日 編集長/山本富雄
年会費/正会員(個人・団体)1,000円、正会員(法人)10,000円、購読会員1,000円、賛助会員10,000円 郵便払込口座番号/00980-3=28845



目次

コラム 会長・小田忠文	……	2頁
総会報告 / 表紙は語る	……	2頁
大木調査プロジェクトをスタート 生もの委員会	……	3頁
地味な活動報告 学校プールのヤゴ救出	……	4～5頁
すいた環境教育フェア2006 会報委員会	……	6頁
まちなみ委員会に参加しませんか まちなみ委員会	……	7頁
ごあんない まちなみ委員会	……	8頁



去る6月18日、
すいた市民環境
会議(以下、当
会)の第7回総会
が千里市民センターで開かれ、四つの議
案が承認された。特に昨年度、古江台中
学における市民共同発電所の事業に関し
て会員からの質問があり、資金面ですい
ぶんと会員各位にご心配をかけたことを
心苦しく感じるとともに、暖かいご支持
のお声かけをいただき、励まされた。
▲さて、1997年3月、吹田市内で環境に
関わる活動をしてきた人たちが個人の資
格で集まって当会が発足した。そして最
初に手がけた活動が「吹田の古木・大木
調査」だった。▲これは発足間もない時
期に会員全員が参加できる取組として考
えられたものだった。しかし市内全域の
調査となると当会会員のみでできる調査
ではなく、吹田自然観察会など他の環境
団体の多大な協力を頂いた。その結果こ
の調査から吹田の保護樹木制度ができ、

観光マップも作られていった。▲当会
その後も吹田の自然環境の調査をしてき
た。その基本的考えは「プロの学者が調
査するのではなく、市民が市民の目で実
施することに意義がある。市民が自分の
住むまちのことをよく知ること、自分
のまちに誇りや愛着をもつきっかけにな
る」というものである。その意味で「吹
田の古木・大木調査」は当会の活動の原
点であった。▲発足10年目を前に本誌の
生きもの委員会からのメッセージにある
ように、来年1月からの本調査を前に、
この夏から大木調査の予備調査を開始す
る。10年前には市内で数団体しかなか
った自然環境に関わる団体の数は多くな
ってきた。今回の調査は吹田自然観察会
をはじめとして多くの団体・個人の参加
を求めている。▲できるだけ多くの市民
が参加することにより、この調査はより
精密な結果と波及効果をもたらすもの
と考える。

第七回定時総会報告

去る6月18日(日)午後6時から千里市民センター会議室(南千里)に於いて開催されました。出席者(委任状を含む)78名/(議決権134名)で総会は成立し議長に田中隆三さんを選出、御案内の通り議案が提出されました。全て原案通り可決承認され午後7時閉幕しました。

第1号議案 2005年度事業報告

第2号議案 2005年度収支報告書

第3号議案 2006年度事業計画案

第4号議案 2006年度予算案

事務局

表紙は語る

05年5月岸辺地区文化施設探訪の折(42号掲載)ちょっと寄道して七尾瓦窯跡の裏に1000㎡程度の水田と池がありました。めずらしいアイガモ農法を横目で見て通りましたがご記憶はありますか?先月またその道を歩きました。池に咲いたはすの花にみせられてついスケッチブックに!!

(Y)

大木調査プロジェクトをスタート

生きもの委員会 平 軍二

1. 大木調査プロジェクトの説明会開催

6月11日午後、神戸大学武田義明教授(すいた市民環境会議顧問)を迎えて「古木・大木10年後調査」のための説明会を開催しました。当日は当会・吹田自然観察会会員のみならず、すいた環境学習協会SELF・紫金山みどりの会、そして千里ニュータウン展でご縁ができた方など、当初の想定を上回る多数の方々に参加していただき、会場NPO室は満員立見席が必要となるほど盛況でした。

武田先生のご講演は

- ・環境省は幹周り3m以上をリストアップしているが、どれ程の大きさであれば巨木とするかなど、古木・巨木の定義は曖昧、それほどきちっとしたものでないこと
- ・人に守られ親しまれている樹木が古木になり、巨木に育つこと、



・文化財に指定するなどの基準としては、大木であることもさることながら、人に愛され親しまれているかどうか、重要なポイントになること

など、古木・巨木についてわかりやすく解説してもらいました。

続いて、すいた市民環境会議メンバーから、

- ・前回の調査結果(高島)
- ・大木の定義(古谷)
- ・樹高測定器(加藤)
- ・スケジュール(平)

など、今年～来年にかけ実施する古木・大木調査に対する説明を行い、参加者に大木についての理解を深めてもらいました。今回の参加者に、今まで環境会議の活動に参加されたことのない方も多数あったので、大木調査のもとにいるんな環境団体で活躍されている方々の環が広がることを確信しました。

2. 予備調査(9月から実施)にご協力を

大木調査は06年・07年の2年間予定しているが、本調査は07年1月からスタートすることとし、06年12月までの半年間は準備期間と位置付け、予備調査を3～4回実施する予定です。

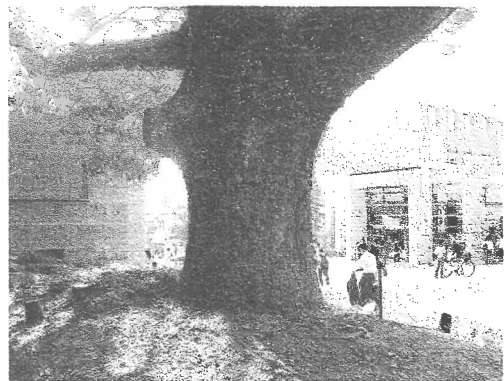
予備調査では、計測方法の検討・習熟や報告書につながる調査票の検討などを行います。調査箇所としては、関西大学構内(植樹された木)、紫金山公園(里山林+鎮守の森)、高浜神社周辺(屋敷林)、千里南公園(植樹された木)などを考えています。

この10年間(実質9年間)にどれだけ木が大きくなっていくか、10年前リストアップした木を見つけ出せるかどうか、また無事に残っているかなど、いろいろ楽しみながらの予備調査は9月から実施する予定です。

3. 大木を見つけてください

10年前の調査は実質1ヶ月の短期決戦で行ったので、調査から漏れた木のあることがわかっており、またその後成長し大木ラインに達した木も多くありそうです。

今回は2年間(実質1年半)をかけ、くわしく調査したいと思っています。もし、大きな木が見つかったら、樹木名・場所などをすいた市民環境会議宛に連絡下さるようお願いします。



クスノキ(幹周366cm)

(前回調査エントリーNo.144)

千里山東3丁目:関西大学正門裏

地道な活動報告 根気良く8年間

学校プールのヤゴ救出

会報委員会レポート

<朝日新聞、5月26日付朝刊、大阪北摂版からの転載>

子供達がキャーキャーと叫んでいるであろう様子が、何ともほほえましいかぎりです。

すいた市民環境会議が発足以来学校プールのヤゴ救出について市長さん、教育長さんに「環境教育や情操教育のツツとして活用してほしい」と毎年この季節にお願いし要望してきました。それだけに感動の一コマを見る想いがして、会員の皆さんに地道な活動報告をしたくなりました。

吹田市教育委員会の西田指導主幹に電話で聞きました。

「ここ4～5年結果の報告を求めたことはありませんので詳細の数字はわかりません。小学校36校区はほとんどの学校がヤゴ救出育成観察などを行なっていると認識しています。中学校18校区についてはクラブ活動などの兼ね合いもあって小学校のように出来ていないと承知しています。」とのコメントをいただきました。

2006年(平成18年)5月26日 金曜日 13版△ 大阪 北摂 28

学校のプールはトンボにとって絶好の産卵場所の一つで、春には産み付けられた卵がかえり、ヤゴになる。しかし、プー

「救出にあたったのは1年生約200人。体操服に着替え、ひきまであるプールの水につかりながら「任務開始」。最初はこわごわプールに入ってきた生徒も、しばらくすると歓声を上げながら夢中でも網などを操り、アキアカネやギンヤンマのヤゴを捕まえた。中には、30分程度で、100匹近く捕獲した生徒も。長澤修君(15)は「最初は少し怖かったけど、やってみたら面白かった。体操服がぬれるのも気にならなかった」と話し、正垣祐輔君(15)は「羽化して、トンボになる様子をみんなで観察するのが楽しみ」と話した。

プールのヤゴ大救出

水泳のシーズンの前に、吹田市竹谷町の市立片山中学校で24、25の両日、プール内にあるトンボの幼虫・ヤゴの「救出作戦」があった。常に水をたためた学校のプールは、ヤゴの格好のすみか。しかし、そのままプール掃除をしてしまうと、全滅してしまう。ヤゴを救出して羽化するまでの様子を観察し、教育に生かそうと、昨年からは始まった取り組みだ。(阪本輝昭)

200人夢中 100匹捕獲の子も 吹田・片山中 羽化まで観察へ



ざるなどを使ってヤゴを救出する生徒ら＝吹田市立片山中で、吹田市提供

ル掃除で水を抜くと、これらのヤゴたちは流されて全滅する。こうしたヤゴたちを救出し、教室の水槽やペットボトルの中で育て、羽化するまで観察では昨年からの「救出作戦」を始めた。捕獲されたヤゴは教室の水槽やペットボトルの中で育て、羽化するまでの期間の成長や変化を観察するという。生徒らは、ヤゴのエサとなるイトミミズなども、今回もわけて採集した。指導を担った理科の高島耕一郎(教諭56)は「最初はヤゴを見たことがないという生徒も多い。生徒が楽しみながら、生き物に触れることができる機会が貴重だ。生き物の命の大切さや、成長の過程などを学んでもらえたらうれしい」と話している。

大阪 北摂

大阪本社社会部
06(6231)0131(代)
大阪版FAX
06(6201)3143
購読のお申し込みは
0120-33-0843
(7:00~21:00)
購読・配達のご用は
06(6231)0131(代)
(10:00~18:00)
広告のご用は
朝日広告社
06(6206)6961
朝日エリア・アド
06(6221)2923
折り込みは
06(6541)2701

アサヒコム大阪
http://mytown.asahi.com/osa-ka/
インターネットでも府内情報

吹田市教育長 延地 和子 様

特定非営利活動法人

すいた市民環境会議 会長 小田忠文

〒564-0032 吹田市内本町2丁目18-8

tel&fax 06-6319-0630

学校プールのヤゴ救出についてのお願い

最近の難しい教育現場で日々のご努力に敬意を表します。

1998 年以来、すいた市民環境会議は「市内の各小中学校のプールに生息するヤゴをゴミとして処分するのではなく、環境教育や情操教育の一つとして活用してほしい」と要望してきました。今年も再度、同じお願いをいたします。

秋から春の学校プールには、ヤゴをはじめ色々な水生昆虫が定着します。学校プールは近年少なくなった、身近な生物と触れ合える立派な「水辺空間」なのです。

プールなどからのヤゴ救出は、全国で広がっており昨年、合同出版から「だれでもできるヤゴ救出大作戦：清水研助著」が出版されました。この本にはヤゴ救出について、その準備から調査法、発展的な活用法までもが解説されています。

ここ数年、吹田市内の学校でもプールのヤゴ救出がおこなわれていますが、プールから救い出した多くのヤゴの育て方がわからず、バケツの中で死なせてしまうこと多いと聞いています。前述のような本を参考になさって、実践されることをお勧めします。

今年も継続して学校プールのヤゴ救出し吹田の空に放つ作業を通じて、より多くの子どもたちに自然の不思議さ、偉大さなどを感じる機会を作っていただきたく思います。このことは環境教育の一環であるとともに、子どもたちが命の大切さを直に感じる良い機会でもあり、生物の多様性の一端を担うことにもなるかと考えます。

ご協力をお願いいたします。

編集後記

6月18日第7回総会が開催されました。昨年度は「吹田をソーラータウンに」と大きな目標もあって会員諸兄には大変御苦勞をおかけしたかと思えます。期末の財務諸表にもその数字が出ていたのでしょう。御出席の方の質問にも当会への温かい支援の言葉がいくつもあったことを肝に銘じたいとおもいます。

(編集長)

注目を集めたか*太陽光発電

未来のために 今できること

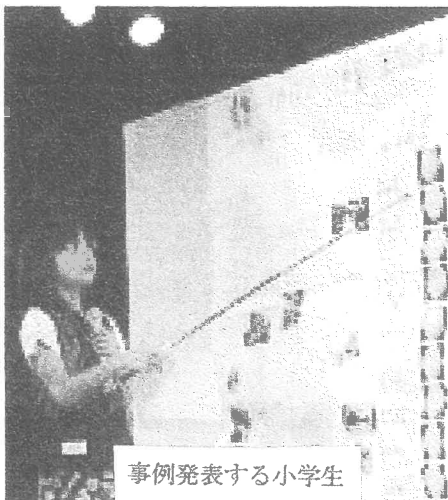
すいた教育環境フェア2006

会報委員会レポート

数えて11回目のすいた環境教育フェアが6月17日(土)午前10時、メイシアター展示ロビーで式典から始まり、環境に関する絵画や、環境美化活動推進者の表彰式が行われました。

今までとは違って、下水道のしくみ、水道水などの利き水コーナー、竹ひしゃくづくり、ザリガニつりなどなど、子供達の興味をそそる仕掛けや、展示、配列等に工夫が見られたと思います。

参加者も、当日配布したパンフレットの数では777部(市役所で確認)で、人数的にはゆうに1000人を上回ったものと思われま



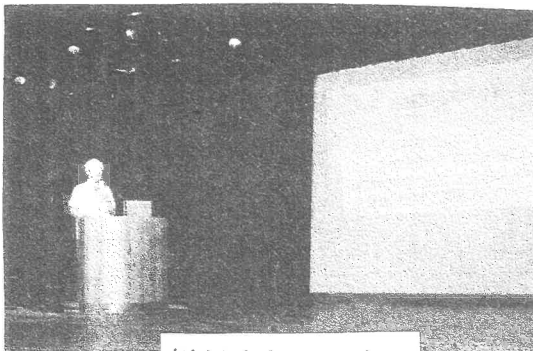
事例発表する小学生



演奏会

当会の参加は活動事例発表とパネル展示で、パネルは古江台中学校に設置した第一号の太陽光発電装置と、これから行う予定の古木、大木の保全、再調査のものです。

環境保全活動事例発表では、小田会長が古江台中学校のビオトープの循環用電源として設置した、太陽光発電の設置に至る活動と、クリーンエネルギーの必要性を力説しました。



事例発表する小田会長



また小学生や中学生達が、空気の汚れやきれいな水、オゾン層の破壊による紫外線など、身近で切実な問題を調査している姿に「良い環境を残してやらないと・・・」と大人の責任を感じたのは、私一人ではないと思います。



まちなみ委員会に参加しませんか

まちなみ委員会

吹田市にはまちづくりの課題が多くあります

住みつづきたいまち 文化都市 吹田を目指して市民にできることを 話し合いませんか

吹田市では「人が輝き、感動あふれる美しい都市 吹田」を目指し、吹田市第3次総合計画(2006～2020)が制定されました。吹田市にはまちづくりの課題が多くあります。現在「千里山駅周辺まちづくり懇談会」、「南千里駅周辺まちづくり懇談会」、「JR岸辺駅周辺まちづくり懇談会」が開催されています。

千里丘の企業の社宅はこの5年で民間のマンションに変貌しました。また千里ニュータウンの団地の建替え、吹田操車場跡地も大きな課題になっています。近い将来、片山のJR社宅や円山町の官舎も建替えが進むでしょう。

まちづくりに市民参加が求められています。私どもは、先ず吹田市の現状を良く知り、まちの良いところを共有しようと「すいたの古木・大木調査」、「古木・大木を訪ねて散策会」、「まちなみ委員会」の設立、吹田市観光マップ「あろっく吹田」の企画編集、「あろっく吹田」散策会への道を歩んできました。昨年3月からは「吹田の文化施設探訪」を実施しました。

また、まちなみ委員の多くが上記の懇談会や「浜屋敷」、「旧西尾家住宅」、「吹田市立博物館千里ニュータウン展」にも関わってきました。

こんなメンバーが毎月定例会で情報交換しながら楽しいイベントを企画し、よりよい吹田を目指し活動しています。あなたもまちなみ委員会に参加しませんか。

まちなみ委員会定例会は、毎月第2または第3水曜日の夜7時から吹田市民会館5階の市民活動支援室で開催しています。覗いてみませんか。

(7月12日(水)、8月未定、9月13日(水) 問合せ先：松岡要三 TEL/FAX 06-6384-8168)

まちなみ研修会 参加者募集！ まちなみ委員以外も参加歓迎 池田市のまちなみ・文化施設などの見学と交流会

「いけだ観光ボランティアガイド」の案内で見学し、その後交流会をおこないます。

日時：平成18年7月16日(日)10時～16時 (雨天決行)

集合：午前10時 阪急池田駅改札前

(参考 阪急吹田駅より淡路、十三乗換え、池田まで30分～40分)

コース：池田駅→商店街(井戸の辻、呉春、稲東家など外見のみ)→伊居太神社→大広寺→城跡公園→池田文庫(灯籠見学)→昼食(ルナ・ホリカワ)→呉服神社→室町の町並み→ラーメン会館→池田駅(14時頃)

ミーティング：14時～16時 場所 駅構内 文化振興財団会議室
地元の「いけだ観光ボランティアガイド」4名と交流会

申込：岡村(Tel・Fax 06-6871-5216)7月13日(木)までに。

費用：交通費、昼食代(1200円程度)各自負担

*池田市は、江戸時代に能勢街道の中継基地として発展しました。

また、日本の「衣・食・住」が始まったという最先端の町。

「衣」は、古代に中国から織物技術が伝えられた。[呉服神社]

「食」は、安藤百福氏によってチキンラーメンが開発された。[ラーメン記念館]

「住」は、小林一三氏によって私鉄の郊外住宅経営が始まった。[室町住宅街]

すいた再発見の楽しいウォーキング

「あलック吹田」散策会を再開します！

第25回 垂水コース 9月9日(土) 参加者募集

2000年3月にスタートした「あलック吹田」散策会、2004年6月で2巡目を終え、一旦お休みして、番外コースの散策会や国立民族学博物館、大阪大学、関西大学など吹田市にある文化施設の見学会を開催してきました。

9月より「あलック吹田」散策会を再開します。2年間以上が経過しました。まちはどう変わったでしょうか。新しい発見があるでしょうか。多くの皆さんと散策するのを楽しみにしています。

- ・開催日：9月9日(土) (小雨決行)
- ・集合：地下鉄江坂駅北改札前9:30 解散：江坂駅周辺12:00頃
- ・コースの見所：大同生命ビル、江坂公園、古いまちなみを残す垂水の小径、雉子巖の碑、垂水神社など。コース内の古木・大木も紹介します。
- ・申込先：大越 TEL 06-6382-7769
FAX 06-6382-8697
- ・参加費：会員 400円 非会員 500円

*吹田市観光マップ「あलック吹田」は吹田市役所産業労働室でいただけます。

*本年は引き続き下記を予定しています。

開催日	開催コース
10月14日(土)	旧吹田村コース
11月11日(土)	南千里コース
3月10日(土)	片山・豊津コース



創設10年を迎えて

千里山 田中隆三

私は入会し未だ2年余。そもそも府の環境部門に関わりを持ち、地元での活動団体として当会を知り、顔を出す動機となって今日に至っています。先輩諸氏の実績および活動の様子を眺めているに過ぎなく、誠に心苦しい気持ちである。

人間の欲望は限りなく、より早く、より快適に、より豊かに・・・を追い求め技術開発を実現し今日の豊かな経済活動・生活を手にしてきた。その負の遺産として自然環境の異変が進み、これ以上進むと大変なことになりそうだとやっと気付いたと言えるのでは・・・。

人間の知恵はすばらしく、可能性としてまだまだ期待して良いと私は考えている。追求する方向・目標を、残された自然環境の保全に留まらず復元に向けるべきではないかと思っている。官・学・民が知恵を出し、特に重要な役目を担うのが一般市民であり、その先導役として、当会の存在価値が膨らんでいくと考えている。